

宮崎県拠点だより



守ろう！ 日之影の棚田、環境、伝統文化！

～日之影町指定棚田地域振興協議会初会合～

令和2年6月25日、日之影町指定棚田地域振興協議会の初会合がありました。当協議会は、昨年12月に日之影町が指定棚田地域に指定されたことを受け、貴重な国民的財産である棚田と棚田地域が有する多面的機能を維持増進することを目的に設立されました。

始めに、会長の佐藤貢町長が、「現在の中山間地域は荒れ果てたところが少なくない。中山間地域直接支払制度を活用することで、助け合いが生まれ、集落や豊かな景観の維持、伝統文化の継承につながっていく。上手く利用して地域を守っていきたい。」と決意表明され、続いて、棚田コンシェルジュの当拠点鈴木参事官が、「本制度を実際に運用いただき、協議会の運営が、順調に進むよう関係者の取組みをお願いしたいと挨拶しました。



会合の様子



日之影町石垣の棚田風景

会合では、棚田地域振興活動加算を受けるために必要な棚田地域活動振興計画案が説明され、今後の方針が承認されました。

計画が認定されると、他事業の補助率かさ上げや要件緩和等の優遇措置を受けることができます。

高千穂の棚田で田んぼアートが映える！！

～(農)高千穂かわのぼりの10年目の取組はバカ殿様～

去る6月20日、高千穂町三田井地区の棚田で、約100人が田んぼアートの田植えに汗水流してから早3ヶ月、秋の訪れとともに、「バカ殿様の大丈夫だー」の見事なアートが姿を現しました。

赤・黒・白色の観賞用稲の種子は宮崎県農業試験場から入手。緑色は地元自慢の主食用米ヒノヒカリの苗を使い、地元生産者に西臼杵支庁、高千穂町役場、JA高千穂地区の多数の関係者の協力もと、田んぼアートの取組も今年で10周年目の節目を迎えました。

新型コロナウイルスの影響で、先の見通せない状況下で、棚田(中山間地域)に人々を呼び込み、今後の農業生産・販売を回復させるひとつのきっかけとなることを期待されます。



構図はバカ殿様



どろんこの子供達



田植え風景



見事に色づいた田んぼアート

<農事組合法人高千穂かわのぼり>

平成12年の中山間地域直接支払制度の開始を機に、「中川登集落協定」を締結し、農道・水路の共同整備を開始。

平成25年5月「農事組合法人高千穂かわのぼり」設立。地域住民と農地、生活環境、自然環境、伝統文化を守る取組を開始。

平成26年、町外から女性新規就農者が移住し、ラナンキュラス栽培を開始。

平成31年、宮崎市内の自動車学校が40a(R2現在120a)の水田を借り、水稻栽培を学び地域交流に加わる。

秋の農作業安全確認運動実施中!!

秋作業が行われる9、10月を重点期間と定めて、全国関係機関の協力のもと実施しています。
～こんなことにならないように～

農作業における事故は、軽微なものから死亡事故まで多岐にわたります。皆さん一人ひとりの日々の意識がとても大切です。

安全に農作業をするためのポイント

作業を始める前に①～⑤

- ①ルールを守りましょう
- ②整理・整頓をしましょう
- ③日頃の体調管理のチェック
- ④体調が悪いときには、遠慮なく相談しましょう
- ⑤正しい服装と必要な防護をしましょう

作業で気を付けること⑥～⑫

- ⑥草刈機(刈払機)安全に使いましょう
- ⑦耕運機を安全に使いましょう
- ⑧高いところの作業に注意しましょう

- ⑨脚立作業に注意しましょう
- ⑩腰痛予防に努めましょう
- ⑪熱中症予防に努めましょう
- ⑫農薬を安全に使いましょう

困ったときには⑬～⑭

- ⑬ケガをしたときは適切な処置を
- ⑭悩み事は抱え込まず相談しましょう

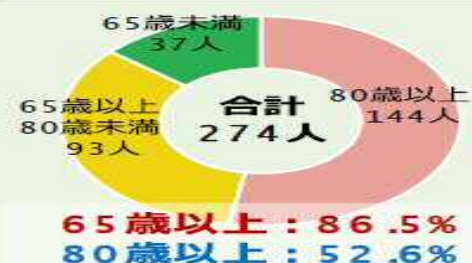


片手で重いものを持って昇り降りない

早い回転で耕す耕運機が急に動く

農作業死亡事故の原因の6割が農作業機械作業によるもの。また「熱中症」による死亡も増加。(H30調査結果より)

農作業死亡事故の発生状況(平成30年)



事故要因

乗用型トラクターによる事故
(機械の転落・転倒等)
73人(26.6%)
熱中症
43人(15.7%)

資料：農林水産省「農作業死亡事故調査」



新たな作業安全対策については
こちら(農水省ウェブサイト)

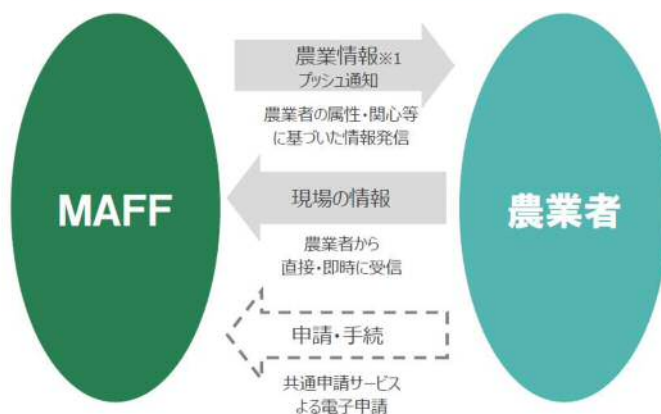
MAFFアプリを活用しませんか??

農業者と農林水産省をつなぐ 新たなコミュニケーションツール

MAFFアプリ



ダウンロードは
こちらから
(無料)



※1 農林水産省政策情報APIを経由して民間サービスでも受信可能。

農業に役立つ情報が直接届く。
現場の情報を直接届ける。

- ・政策情報を直接配信
- ・ユーザーの作目や関心事項に応じた記事が届く
- ・大切な情報はプッシュ通知でお知らせ

農家の皆さん、積極的な情報発信に
取り組んでみませんか!!

地方参事官ホットライン

TEL 0985-24-2365
FAX 0985-27-2035

本紙の記載内容等についてのご質問、農政に関すること、事業や制度への質問・ご意見等がございましたらお気軽にお問い合わせ下さい。
(〒880-0801 宮崎市老松2丁目3-17)

農林水産省ビジョン・ステートメント

わたしたち農林水産省は、生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を未来のこどもたちに継承していくことを使命として、常に国民の期待を正面から受けとめ、時代の変化を見通して政策を提案し、その実現に向けて全力で行動します。